

平成26年 上郷中学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

全教育活動を通して、自他の人権を尊重し、集団の中で自らの存在を自己確認できる生徒を育成しています。

児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかる課題）

素直で活動的な生徒は多いが、自分の良さを実感している生徒が少なく、人の気持ちを考えて行動できなかったり、約束を守れない生徒もいる。

また、人間関係が希薄で、思いやりは持っているがそれを出せずにいる生徒も少なくない。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。
- ・物事の善悪の判断基準を確立し、人権を尊重する豊かな心を育てる。
- ・キャリア教育（1年横浜マイスター 2年職場体験 3年ライフプランニング）や地域行事への参加などを通して、相手を思いやる心や社会に役立つ行動をする態度を育てる。



指針1 「道徳の時間」の充実

- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に年1回公開する。
- ・道徳の授業の中で、「同じ状況に置かれたとき、自分はどうか考え、どう行動するか」を必ず考えさせる。【視点1】

指針2 体験活動の充実

- ・各学年のキャリア教育（1年横浜マイスター 2年職場体験 3年ライフプランニング）を通して望ましい職業観や勤労観を育てる。【視点4】
- ・地域行事に積極的に参加し、地域の一員としての自覚を持ちながら、様々な人々との関わりの中で、社会性を育てる。【視点4】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・Q Uを実施し、生徒理解の一助とし、課題解決に取り組む。【視点7】
- ・人権教育を基盤とした授業を展開する。【視点7】